

先読み

豊富な支援実績から導き出されたノウハウを学ぶ!

病院機能評価 (3rdG: Ver.2.0) の傾向と受審対策

株式会社ユアーズブレン 医業経営コンサルティング部 課長 小金丸 実

2009年(株)ユアーズブレンに入職し、業務改善支援、病院機能評価取得支援の研修会講師などを担当している。病院機能評価Ver.1.0以降の支援では、評価項目への適合性の確認や改善推進の支援、模擬審査を提供する。大学病院、中核病院から、一般急性期、慢性期、精神科などさまざまな中小病院まで多数実績あり。



本企画のねらい 本企画では前後編にわたり、公表されている新バージョンの評価項目および最近の審査の傾向、本審査においてサーベイヤーから実際にあった質問などを基に、取り組まなくてはならない内容を述べます。また、イメージしやすいよう事例も取り上げて、読者の皆さんが実践的な受審準備に取り組めるように解説します。

前編 従来とはここが違う! 3rdG: Ver.2.0の概要

2018年度から病院機能評価はバージョンアップし、2018年4月以降の受審は、原則として3rdG: Ver.2.0の評価を受けることになります。これまでのところ、5年の認定期限ごとに受審を受けている病院の場合、同じバージョンで更新となったことはありません。現時点(2017年7月)で日本医療機能評価機構のホームページにおいて公表されているVer.2.0の評価項目を確認すると、3rdG: Ver.1.0や1.1から、領域の体系や評価項目の構

成などの全体像に大きな変更はありません。

なお、本稿の執筆時点では、日本医療機能評価機構から完成版の評価項目や正式な解説集が公表されていないことをご了承ください。

Ver.2.0の変更点、一般病院3の追加

■一般病院3

今回の改定では、対象となる病院の区分に「一般病院3」が追加されました。特定機能病院や大学病院本院の審査では、中核病院を対象とした一般病院2に比べて、より厳しい評価が開始される予定となっています。新しい区分が追加されたことにより、全部で7つの区分ができることになりました(表1)。特定機能病院や大学病院本院がVer.2.0を受審する場合、一般病院3の受審区分となり、更新審査を受審する場合は、前回の一般病院2から区分が変わることになります。

今回一般病院3が追加された理由として、

[表1] 3rdG: Ver.2.0の7つの受審種別

病院の種別	種別の説明
一般病院1	地域のかかりつけ病院
一般病院2	中核病院, 基幹病院
一般病院3	特定機能病院, 大学病院本院
リハビリテーション病院	回復期 リハビリテーション病院
慢性期病院	療養病棟を中心とした病院
精神科病院	精神科病院
緩和ケア病院	緩和ケア病棟を持つ病院